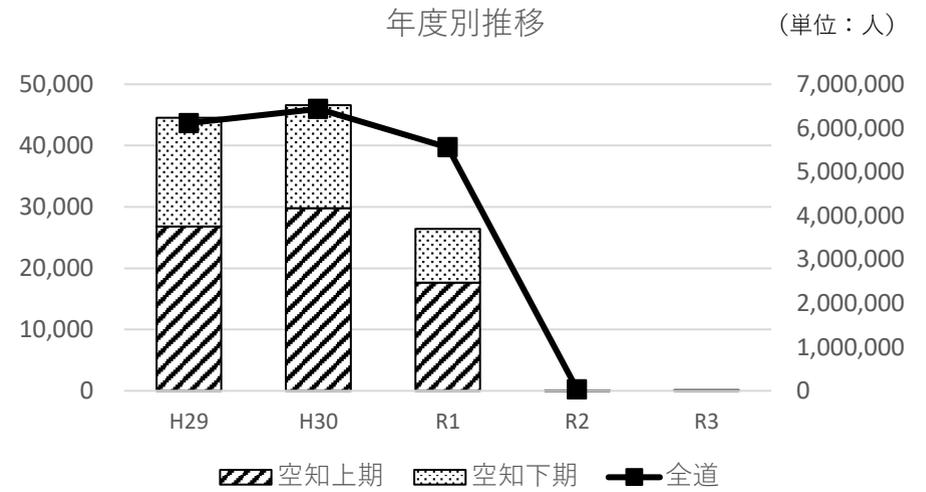


令和3年度（2021年度）空知管内における訪日外国人宿泊者数調査結果の概要

令和4年（2022年）7月22日
空知総合振興局産業振興部商工労働観光課

1. 概要

令和3年度（2021年度）の空知管内における訪日外国人宿泊者数（実数）は、70人となり、令和2年度（2021年度）の53人から、17人（32.1%）の増加となった。



※R3全道分は集計中

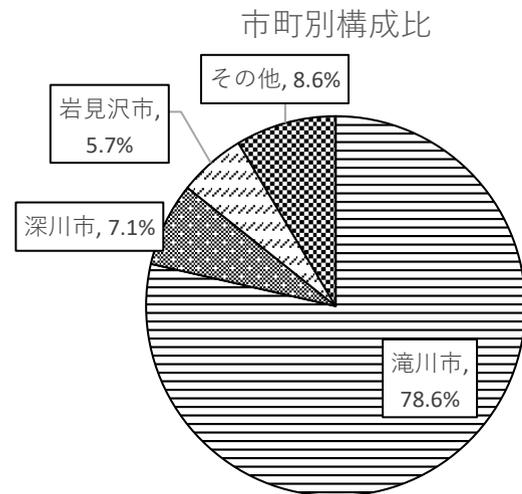
(単位：人)

	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度増減	対前年度比
空知管内計	44,501	46,570	26,438	53	70	17	132.1%
上期計	26,776	29,802	17,672	18	59	41	327.8%
下期計	17,725	16,768	8,766	35	11	▲ 24	31.4%
全道シェア	0.73%	0.72%	0.48%	0.19%	—	—	—
全道計	6,109,659	6,435,854	5,557,154	27,478	—	—	—

※R3全道分は集計中

2. 市町別

管内24市町のうち、外国人が宿泊したのは計6市町となり、多い順に滝川市（55人）、深川市（5人）、岩見沢市（4人）、月形町（3人）、砂川市（2人）、芦別市（1人）となった。

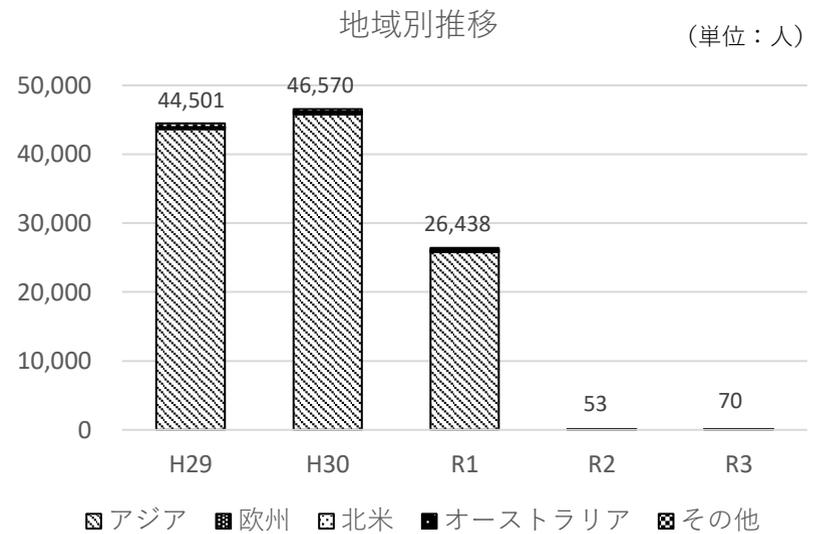
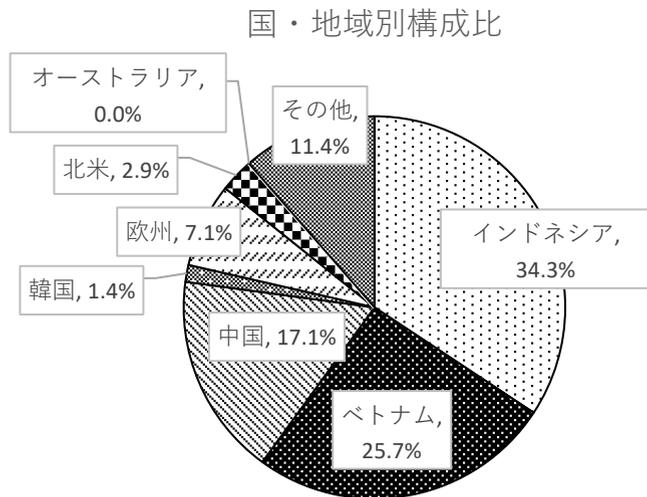


(単位：人)

		H29	H30	R1	R2	R3
管内計		44,501	46,570	26,438	53	70
上位3市町	1	夕張市 39,395	夕張市 39,583	夕張市 20,615	滝川市 28	滝川市 55
	2	栗山町 2,201	栗山町 2,623	栗山町 1,556	岩見沢市 23	深川市 5
	3	三笠市 668	三笠市 1,179	三笠市 1,375	深川市 2	岩見沢市 4

3. 国別

国別で見ると、インドネシアが24人で最多となり、次いでベトナム（18人）、中国（12人）の順となった。
全訪日外国人宿泊者数（70人）のうち、78.6%にあたる55人がアジアからの宿泊者であった。



(単位：人)

		H29		H30		R1		R2		R3	
管内計		44,501		46,570		26,438		53		70	
アジア計		43,677		45,795		25,798		42		55	
上位5か国	1	台湾	23,878	台湾	24,639	台湾	11,111	ベトナム	13	インドネシア	24
	2	中国	7,980	中国	7,999	中国	7,025	韓国	8	ベトナム	18
	3	韓国	4,847	韓国	5,690	韓国	2,842	中国	5	中国	12
	4	マレーシア	3,050	マレーシア	3,564	香港	1,608	香港	4	韓国	1
	5	タイ	1,850	タイ	1,723	マレーシア	1,564	フィリピン	4	—	—
	その他	2,072		2,180		1,648		8		0	
欧州		69		94		82		6		5	
北米		157		205		140		3		2	
オーストラリア		34		82		74		2		0	
その他		564		394		344		0		8	

4. 月別

月別で見ると、7月が30人と最多となり、9月16人、8月7人と続き、結果として第2四半期（7～9月）に訪日外国人が集中した。

